

ボランティア等参加報告書

支援力向上（フードロス取組みと社会活動貢献）

令和 4 年 12 月 14 日

所 属	Be Happy あべの	氏名	田口雄三
参 加 者	田口雄三、鳥野友理		
日 時	R4 年 12 月 11 日 10 時 30 分 ～ 16 時 00 分		
商 談／展 示 先	宇宙塾 どうぶつ愛護チャリティマルシェ ～未来を創る子ども達のため～		
商 談／展 示 内 容	野菜フードロス取組み活動・地域外部団体へ協賛		
会 場・場 所	此花区民一休ホール(〒554-0014 大阪市此花区四貫島1-1-18) (※会場チラシでは記入ミスで一体となっております)		
生産活動収入を増やすための交流、商談内容	第10回・ユーマルシェ大阪開催(10月18日開催)で参加させて頂いた経緯よりユーマルシェ(株式会社ユーワード)の関係者が、今回のチャリティイベントへ参加依頼、みてじま作業所のフードロス問題と地域外部団体へ協賛、社会活動貢献でB品野菜を無償提供致しました。 同系列の事業所で主に野菜を加工しているBehappyみてじまで、商品規格に通らないB品として処分される野菜を活用するために、Behappyあべの指導員の田口、鳥野がBehappyみてじまの協力のもとB品野菜を此花区一休ホールへ持ち運び、それを子どもたちが中華丼の調理、販売の食材提供として協力しました。 この取り組みは子ども食堂活動の一環として、参加する児童に料理が振るまわれるだけでなく、児童自らが料理する機会も大人の監修のもとに行われるという『子どもレストラン』としての活動も行われていました。調理販売した売り上げは全て『子どもレストラン』の管理運営費となり、売り上げの10パーセントが動物愛護施設へ寄付される事になっております。		
	  		
備 考	BehappyみてじまのB品野菜の提供は高い需要が見込めましたので、今後は無償提供だけではなく、有償で売り上げになるように提供できればBehappyみてじまの事業売上、充足率にも繋がると思います。		

イベント等参加報告書

支援力向上④（情報交換会）

令和 4 年 4 月 4 日

所 属	Be Happy あべの	氏名	石井、奥野
参 加 者	石井二郎、奥野友巳		
日 時	R4 年 4 月 4 日 13 時 00 分 ～ 18 時 00 分		
商 談／展 示 引 先	「4月4日（しあわせ）」のチューリップデー2022		
商 談／展 示 内 容	イベントにアーティスト&スタッフ参加。演奏や児童の絵のアニメ動画化		
会 場・場 所	住吉区民センター大ホール		
生産活動収入を増やすための交流、商談内容	業務サポートをしている 一般社団法人 LGB.Tと 共催・社会福祉法人大阪市住吉区福祉協議会 からの依頼で 参加し、指導員と協力してイベントのアーティストとしての参加と イベントスタッフとしての参加の両方で関わりました。 アーティストとしては 指導員の奥野が沙織、との音楽によるステージ参加。 もう一つは児童の描いた絵を短時間かつその日でアニメ動画にする ワークショップを行い、指導員の石井が行いました。 イベントHP (https://lgb-t.com/events/)    		
備 考	参加費や費用、給与は無いボランティア活動でしたが、 公の地域参加イベントでのアーティスト活動の披露は今後の活動において 重要だと思います。		

スコア評価表（Ⅳ）支援力向上

0

		参加研修名	参加者	参加証明
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		虐待防止に関する研修	田口 雄三	あり
参加した職員が1人以上半数未満であった	○			
参加した職員が半数以上であった				

外部研修

- ・職員に対し行う、研修計画に基づいたA型事業所以外が行う研修への参加
- ・職員の半数以上が参加（サビ管、管理者、事務員は含まない）
- ・外部研修の主なテーマは「障害者支援」「就業支援」「障害福祉に関するもの」「賃金向上に関するもの」

内部研修

- ・職員に対して行う、外部講師を事業所に招いて行う研修
- ・概ね半日以上時間設定がされていること

※職員の半数以上と・・・研修計画段階の職員数で判断。

②研修、学会等又は学会誌等において発表				
1 回の場合				
2 回以上の場合				

外部発表の有無（A型の支援員が、外部に取り組み事例の発表を行った場合）

- ・講演者として登壇し、他の事業所や企業に対して取り組み事例の発表を行うこと
- ・研修、学会等（一定規模以上）、学会誌への掲載などを行うこと
- ・学会誌への掲載は当該学会誌に掲載が行われていること

③視察・実習の実施又は受け入れ				
いずれか一方のみの取組を行っている	○			
いずれの取組も行っている				

先進的取り組みの有無

- ・先進的事業者の定義を把握しているか
- ・スコア合計170点以上の事業所
- ・障害者雇用のための新たな職務の設定や、キャリアアップの取り組みを行い、相当程度以上の障害者雇用率を達成している企業
- ・もにす認定をうけている企業

※同法人内の事業所でも可能

○視察の内容は以下を含んでいるか？

- ・施設内見学
- ・事業概要の説明
- ・障害者が従事している生産活動、業務の見学
- ・グループワークなどの各種支援プログラムの見学
- ・職員または先進的事業者を利用、雇用されている障害者との意見交換

○他事業所からの見学・視察の受け入れについて

- ・雇用管理方法、訓練手法、高い収益を上げる生産活動の手法について、他事業所へ情報提供を行っていること
- ・視察や実習についてあらかじめ障害者に同意を得てプライバシーの配慮を行うこと

○実習の内容には以下を含んでいるか

- ・障害者が従事している生産活動、業務に体験的に従事すること
- ・グループワーク等の各種支援プログラムの参加
- ・職員または先進的事業者を利用、雇用されている障害者との意見交換

④販路拡大の商談会等への参加				
1 回の場合				
2 回以上の場合	○			

- ・販路拡大のためのビジネスマッチングを目的とした展示会への出展
- ・地域企業への情報交換機会を設定したうえで事業内容の説明、情報交換
- ・新たな生産活動の導入、事業拡大を目的とした自治体や地域の商工会議所等が実施する企業間の情報交換会、商談会への参加

⑤職員の人事評価制度				
人事評価結果に基づき定期昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○			

- ・人事評価制度を定めて、前年度において実行できているかどうか

⑥ピアサポーターの配置				
ピアサポーターを職員として配置している	×			

- ・障害者ピアサポート研修（基礎または実践）を受講し、研修修了証を整備できているか
- ・ピアサポーターとしての配置が認められる職種は、サビ管、職業指導員、生活支援員ほか、「利用者以外で」利用者とともに生産活動や就労に参加する者であること

⑦第三者評価				
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	×			

- ・当該年度の前年度末日から起算して過去3年以内に受けた第三者評価を公表すること

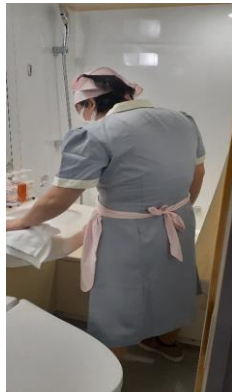
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等				
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている	×			

- ・またはその他これに準ずるものとして都道府県が認める規格に適合している旨の認証を受けている場合
- ・IOS、JIS、JFS、日本農林規格、GAP、ASIAGAP、JGAP等

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	Be Happy あべの	事業所番号	2712301544
住 所	大阪市阿倍野区旭町2-1-1-135	管理者名	
電話番号	06-4394-8436	対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 提携先企業の宿泊施設にて、清掃、ベッドメイク、補充作業などスタッフ1～2名、利用者5～10名ほどで作業している	<活動の様子>  ← ベッドメイク  水周りの清掃作→  ← 補充作業
<目的> 施設外業務としてホテル清掃をし、業務の幅を広げていく。利用者も手に職をつけてもらえれば一般就労にも繋がる	
<成果> セイビ大阪のご担当者様にもベッドメイクなど高い評価を頂いている。作業スピードも速く、清掃の部屋数が多い時でも協力できている。	

連携先の企業等の意見または評価

忙しい時は協力的で、セイビの従業員と近いレベルで部屋を仕上げています。福祉についても理解していますので、今後どうぞ引き続きよろしくお願いします。			
連携先企業名	株式会社セイビ大阪	担当者名	荒場様